

「施策」総括票

施策展開	3-(5)-イ	知的・産業クラスター形成の推進	
施策	③先端医療技術の研究基盤の構築		202頁
対応する 主な課題	○今後成長が見込まれる健康・医療分野については、国内で唯一の亜熱帯性気候に属し、アジア太平洋諸国に隣接している沖縄の地域における研究拠点を形成することが求められている。このため、再生医療などの先端医療技術や、感染症予防ワクチンなど創薬の研究開発の基盤構築を図り、産学官連携による研究開発支援を一層充実させていく必要がある。		
関係部等	企画部、福祉保健部		

I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
主な取組		決算見込額	推進状況	活動概要
1	先端医療技術産業化研究事業	425,816	順調	○県内医療機関でがんの免疫療法や肝硬変の自己骨髄細胞療法再生医療の研究開発事業を実施した(臨床研究実施件数:計画15件、実績34件)。(1)
2	重粒子線治療施設導入に係る検討基礎調査事業	24,196	順調	○重粒子線治療施設の導入に係る基礎調査を実施するとともに、医師会、琉球大学、重粒子線治療機関、経済団体等で構成する協議会を設置し、県内への重粒子線施設の導入について検討を行った。(2)
3	感染症防除研究の促進	177,287	順調	○感染症やATL(成人T細胞白血病)等を対象とした医療研究ネットワークの基盤構築を図るため、委託事業者を公募型プロポーザル方式により決定し、感染症をテーマとした共同研究を3件実施した。(3)

様式2(施策)

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	先端医療分野における研究実施件数(累計)	3件 (23年)	3件 (24年)	5件	—	—
	状況説明	先端医療分野における臨床研究については、引き続き積極的な研究開発を推進し、目標達成に向けて取り組んでいく。				

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

III 内部要因の分析 (Check)

・ヒト肝細胞を用いる臨床研究を計画している場合、政府から臨床計画の実施に係る承認を受ける必要があるが、事業期間内に速やかに承認を受けるために、沖縄県と県内医療機関が連携し、厚生労働省の関係部局と事前協議を積み重ねる必要がある。
 ・感染症分野の研究については、県内外の医療研究ネットワークの基盤構築を図る必要があるため、県内外の研究機関や企業等の連携が重要である。

IV 外部環境の分析 (Check)

・重粒子線治療施設導入に係る検討基礎調査事業については、重粒子施設の県内需要見込を算出したが、県内需要だけでは安定的な施設の運営が困難であるため、県外及び国外から患者を集める仕組みを構築する必要がある。

V 施策の推進戦略案 (Action)

・政府から臨床計画の実施に係る承認を受ける必要がある場合は、厚生労働省の関係部局と綿密な事前協議を行い、承認機関の開催スケジュールに合わせた情報提供を行うことにより、早期に臨床研究を開始する準備を整える。
 ・感染症医療研究については、県内外の感染症に関わる研究機関や企業等から構成される医療研究ネットワークを構築し、強化を図る。
 ・重粒子線治療施設導入に係る検討基礎調査事業については、県外及び国外の需要等詳細調査を実施するとともに、設置運営主体、事業計画、人員計画、施設整備、集患システムの構築等についてモデルを作成して検討を行う。